

教科（科目）	商業（経済活動と法）	単位数	2	学年（コース）	第3学年（ビジネスコース）
使用教科書	実教出版『経済活動と法 新訂版』				
副教材等	実教出版『全商商業経済検定模擬試験問題集1・2級 経済活動と法』				

1 学習目標

ビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得させ。経済社会における法の意義や役割について理解させるとともに、経済事象を法的に考え、適切に判断して行動する能力と態度を育てる。

2 指導の重点

- ①民法、商法、会社法などビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識の習得と、経済社会における法の意義や役割について学習します。
- ②身近な内容が多いので、様々な過去の事例や直近に起こった事例についても学習し、法に関する理解を深めます。
- ③地域経済において、法がどのような役割を果たしているのかを学習します。

3 学習計画

月	単元名	学習活動（指導内容）と方法	時間	評価方法
4	第1章 経済社会と法	1. 変化発展する経済社会と法	2	
5	第2章 権利・義務と財産権	1. 権利・義務とその主体	14	課題提出
6		2. 物と財産権		中間考査
		3. 知的財産権		課題提出
7	第3章 財産権と契約そしてその保護	4. 市場調査の方法	20	期末考査
		1. 財産権と契約		課題提出
		2. 物の売買		
9		3. 物の貸借		課題提出
		4. 契約によらない財産権の変動		
10	第4章 企業活動に関する法	5. 財産権の保護	10	中間考査
		1. 企業活動の主体		課題提出
		2. 営業活動の自由と制限		
11	第5章 取引に関する法	3. 株式会社と法	8	期末考査
		1. 手形・小切手と法		
		2. 金融取引		
12	第6章 企業の責任と法	1. 法令遵守	10	課題提出
		2. 消費者と法		
1		3. 労働と法		学年末考査
		4. 紛争の予防と解決		全商商業経済検定

計64時間(55分授業)

4 課題・提出物

- ・各学期ごとの定期考査と課題提出があります。
- ・全商商業経済検定の受験を予定しています。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
・経済生活やわれわれの市民生活が安定的に営まれることは、法の存在による「法化社会」であるからである。従って、法の知識、法的思考が生活上必須のことであることに関心を持ち、意欲的に学習しようとし	・ある事象の解釈について、また条文についてなどの生成過程や立法の趣旨を論理的に思考し、判断できる。	・新聞記事などを通してそれらのことが「法化社会」でどのように扱われ、条文と相関できるか具体的にとらえることができる。	・経済活動や市民生活のあるところ法あり、と実感し理解することが知識の裏づけをもってない。
以上の観点をふまえ、 ・学習に対する意欲や態度、思考力や表現力など ・検定に向けての取り組みや出欠状況など ・定期考査や課題提出、および締め切りの厳守などを総合的に評価する。			

6 担当者からの一言

- ・学習に対する意欲や態度、思考力や表現力など、検定に向けての取り組みや、出席状況など、定期考査や課題提出、および締切の厳守など以上を、総合的に評価する。
- ・社会事象に興味関心を持ち、私たちの生活と法律の関係について理解を深めていきましょう。